ニホンジカ林業被害対策研修会に参加しました

令和 2 年 10 月 15 日
広島北部森林管理署

10 月 14 日広島北部森林管理署では、広島県が主催したニホンジカ林業被害対策研修会に参加しました。

この研修会は、近年増加しているニホンジカによる造林木の食害等の被害対策に関する知識と防除技術を習得することを目的に、第 1 回と第 2 回をセットで受講するもので、1 回目がシカの生態と防護柵設置に関する基礎編で、2 回目が捕獲に関する研修となります。

1 回目の今回は、安芸高田市八千代町の民有林を会場に、林業事業体、市町職員、森林組合等から総勢 44 名が参加しました。

はじめに、県内の被害状況、シカの行動生態について説明があり、その後柵の設置方法とメンテナンスについて学習しました。

講義は、司会者からの質問に、野生鳥獣専門家らが答える、ディスカッション形式で進行しました。

午後からは民有林造林地に会場を移して、実際に柵張りする様子を見学し、「巻ロープを真中で割り、中から端を引き出すともつれにくい」、「ネットの網目を整形しながら張り具合を調整する」など設置方法を習得しました。

司会者の質問に答える専門家

柵張り実演を熱心に聞く参加者

広島北部森林管理署では、造林木への防除対策を万全に講じるとともに、今回集まった林業関係者と連携してシカ捕獲に取り組んでいきます。